



図書だより 6月号

2020年 6月発行
睦合中学校
学校図書館

6月に入り、分散登校が始まりました。現在、学校図書館は休館していますが、新型コロナウイルス感染症対策に気をつけて、**ブックデリバリー**という形で本の貸出を行います。

昇降口前に「返却BOX」と「ブックデリバリー受付BOX」を設置しました。ぜひ、利用してください。

「ブックデリバリー」について



- ①「学校図書館は休館だけど、本を借りたい！」「本の返却はどうしたらいいの？」という生徒の皆さんのためにブックデリバリーサービスを実施します。裏に おすすめの本のリストを載せました。**リスト以外の本もリクエストできます。**
- ②利用方法やブックデリバリーリストなどの詳細は、昇降口前の「返却BOX」と「ブックデリバリー受付BOX」のところに展示します。

中学生時代に 読んでおきたい本

「夏の庭—The Friends」

湯本香樹実／新潮文庫

小学6年生のぼくと
山下、河辺の3人は、町外れ
に暮らすひとりの老人を
「観察」し始めた。いつしか
おじいさんとぼくらの関係は
不思議な友情に変わっていく。夏の終
わりに、おじいさんの庭に残ったもの
とは？少年たちの成長物語です。



「鬼の橋」

伊藤遊／福音館文庫

昼間は京のえらいお役人
にして有名な漢詩人、夜は
井戸からあの世へ通い、
地獄で閻魔大王の右腕として
働いたという不思議な伝説を
持つ、平安初期に実在した人物・
小野篁(おののたかむら)。
少年・篁はある日、古井戸から冥界
の入口へと迷い込んでしまい…。



「きみの友だち」

重松清／新潮文庫

ある出来事をきっかけに
心を閉ざしてしまった
主人公・恵美と、彼女の
周辺の人々の友情を描いた
連作長編。人間関係に悩んでいる人、
自分の居場所を見つけることができず
なかなか上手く生きられないと感じる
人、ぜひ読んでみてください。



「穴 HOLES」

ルイス・サッカー／講談社文庫

無実の罪で少年たちの
矯正キャンプに放りこまれた
スタンリー。かちかちの大地
に一日一つ、おおきな穴を
掘らされる。
ある日、スタンリーはとうとう決死
の脱出をする。友情とプライドをかけ、
どことも知れない「約束の地」をめざ
すが…。





ブックデリバリー ご利用ください！

本をあなたの元に届けます。

2020年6月
睦合中学校
学校図書館

※昇降口前に、「返却BOX」と「ブックデリバリー受付BOX」を設置しました。

- ①昇降口前に、「ブックデリバリーリスト」を掲示します。リストの中から本を選ぶか、リスト以外の借りたい本を書いてください。（「こんな本ありますか？」「こんな本が読みたい！」というリクエストには、学校司書が本を選びます。）
- ②申込書に「学年・組・名前」「本のタイトル」「記入日」を記入して、申込受付BOXに入れてください。
※申込書とBOXは昇降口前の廊下にあります。
- ③申込みのあった本は、クラスボックスから本人の元に届きます。
- ④本の返却は、昇降口前の返却BOXに入れてください。

< 6月のブックデリバリーリスト >

今月の特集は「雨にまつわる小説」です。

No.	本のタイトル・作者・出版社	おすすめポイント
1	「非・バランス」 魚住直子／講談社	霧雨の中、中学2年生の”わたし”は願いを叶えてくれるジンクスをもつ「ミドリノオバサン」と遭遇した。クールに生きているつもり”わたし”の口から思わず出た言葉は「タスケテ」。少女と大人、傷つきやすい2つのハートが出会った、ある夏の物語。
2	「雨の降る日は学校に行かない」 相沢沙呼／集英社文庫	スクールカースト、保健室登校…。学校生活に息苦しさを感ずる女子中学生たちの憂鬱と、かすかな希望を描き出す連作短編集。
3	「この恋は世界でいちばん美しい雨」 宇山佳祐／集英社	一度死んでしまった恋人たち。もう一度生き返る条件として余命を共有する「ライフシェアリング」という奇跡があるとわれ…。好きな人だからこそ、余命を共有する難しさに直面した主人公たちの結末は…。
4	「晴れた日は図書館へいこう 1」 緑川聖司／ホプラ文庫ピュアフル	本好きの少女しおりが図書館で遭遇する数々の「謎」を描いた短編集。書き下ろし『雨の日も図書館へいこう』では、大雨の日に図書館で起きた不思議な出来事が描かれています。
5	「コンビニたそがれ堂」 村山早紀／ホプラ文庫ピュアフル	最初のお話は、転校してしまった女の子と不本意な別れ方をしてしまった少年雄太の物語です。ほっこりする短編集です。
6	「小説 言の葉の庭」 新海誠／角川文庫	雨の朝、静かな庭で2人は出会った。靴職人を志す高校生の孝雄と、謎めいた年上の女性・雪野。迷いながらも前に進もうとする2人は、どこへ足を踏み出すのか。
7	「死神の精度」 伊坂幸太郎／文春文庫	死神・千葉の登場シーンはいつも雨。一週間の調査ののち、対象者の死に可否の判断をくだす、クールでどこか奇妙な死神が出会う六つの物語。読みやすい短編集です。
8	「雨ふる本屋」 日向理恵子／童心社	だれかが忘れてしまった夢や、「おしまい」の文字を書かずに途中になってしまった物語に雨をかけてできあがる「雨ふる本」。ここは、あなただけの物語が見つかる本屋さん。
9	「雨ふる本屋の雨ふらし」 日向理恵子／童心社	「雨ふる本屋」の続編です。ひみつの呪文を唱えてふしぎな「雨ふる本屋」にやってきたルウ子と妹のサラ。大切な宝物をなくしたとき、あらたな冒険がはじまる。
10	「雨降る森の犬」 馳星周／集英社	家族とのわだかまりを抱えた中学生の雨音は、都会を離れ蓼科に住む伯父のもとに身を寄せる。そこには、ワルテルという犬がいて…。犬が導く喪失と再生の物語。